



**基本
理念**

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

減り張り

病院長 井 □ 厚 司

「めりはりの利いた文章」とか「めりはりのある生活」などと使われる“めりはり”という言葉はどこからきたかご存知でしょうか。広辞苑を見ますと、「ゆるむことと張ること。特に邦楽で音の抑揚をいう。」とあります。本来は、めり（減り：低い音）・かり（上り：高い音）、すなわち「めりかり」という邦楽用語であったものが、「減り張り（音声を緩めることと張り上げること）」というふうに使われるようになったとのこと。

意味合いが少し違うかも知れませんが、最近様々な場所で我々を取りまく環境が“めりはり”のある、すなわち強弱がはっきりしてきているように感じます。気候はどうでしょう。この頃の夏は思い切り暑く、国内最高気温とか観測史上最高の、などとの報道が相次いでいます。そして冬は特別寒い。今冬は国内でも何十年ぶりかの大雪と報じられました。「護送船団方式」とか「皆で渡れば怖くない」とか、これまで曖昧で大きな変化のないことが良しとされ互いに助け合ってきたこの国が、いつの間にかグローバル化の中で「勝ち組負け組」とか「生き残り競争」などと表現されるように、農耕社会から弱肉強食の狩猟社会へと“めりはり”のきいた世界に変化しつつあります。

医療の世界に目を向けますと、今回の診療報酬改定はかなり“めりはり”のある内容になりました。入院基本料においては、急性期病床の機能をより明確化し、長期療養患者の特定除外制度の見直し、看護必要度の評価項目の見直し、救急医療管理加算2の新設、短期滞手術等基本料の設定など、急性期を担う医療機関はより急性期に特化した医療を

行っていないとその要件を充たすことができない仕組みになりつつあります。恐らくいくつかの医療機関が7対1をあきらめざるを得なくなると予想されています。その一方で地域を支える有床・無床の診療所では主治医制や在宅医療への適正な評価が設定されており、2025年の医療機能分化の完成型へ向けてのイメージが着々と進められているといった印象です。都城病院は今後もこの地域の急性期医療を支える基幹病院としての役割をがん診療、周産期・小児医療、あるいは地域支援病院としての機能を保ちながら、医療連携の要として、また地域への情報発信源として進んで行くこととなります。職員の皆様“めりはり”のあるご協力をお願いいたします。

最後に例によって近況報告を致します。4月から皮膚科専門医である中山文子先生による皮膚科の入院・外来診療が開始されました。また、中央検査部の部長に高崎泰先生が就任し、臨床検査や血液製剤管理の統括をしてもらいます。院内の環境面では、常勤、非常勤医師の増員にあわせて現存の医局が手狭になったために第二医局をつくりました。外来に掲示用モニター設置、図書コーナー設置、地域医療連携室の移転整備、リンパ浮腫外来の移転整備、がん相談支援センターの整備、ME室の移転整備、備蓄庫の新設、外来患者さんの待ち時間対策のための呼び出しシステムの新設、そしてシアター付き多目的ホールの新設など、外来棟新築前ですがいろいろやっています。間もなくデザインもコンテンツも一新した“めりはり”のある病院ホームページで詳細を見ることができます。お楽しみに。

皮膚科について



皮膚科は平成26年4月から再開いたしました。
アトピー性皮膚炎、乾癬など皮膚疾患全般の検査、診断ならびに治療を行います。
パッチテスト（金属や薬など）や皮膚生検などの検査も行います。
带状疱疹や蜂窩織炎などの安静入院加療も受け入れる予定です。
また、木曜日の午前中が手術日です。
良性皮膚腫瘍などの日帰り手術や入院治療も可能です。
木曜日の午前中以外は、月曜～火曜日の午前・午後外来診療を行っています。
末永く地域に貢献できるように心がけたいと考えておりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

（文責 皮膚科医長 中山 文子）

TV案内板等設置

外来待合室にテレビ掲示版、フロア案内タッチパネル、図書コーナーを設置しました

テレビ掲示版は、都城病院の案内や患者さんに伝えたい情報に加え、健康講座や四季の風景、ニュース速報などさまざまなコンテンツを配信しています。

フロア案内タッチパネルは、目的の場所をタッチすることにより院内各部署へのルート案内を表示します。

図書コーナーはどなたでも気軽に利用でき、憩いの場所として最適です。

これからも積極的な情報発信を行うことにより、患者さんの安心と信頼に繋げるとともに、待ち時間の有効な利用に少しでも役立てていきたいと思っております。（業務班長）



『図書コーナー』のご案内

外来、皮膚科外来前に「図書コーナー」を設置しました。

患者さんや当院職員、都城市立図書館などから寄付された書籍を集めて作られたコーナーです。

雑誌、小説、医学関連書、児童書などが置いてあります。

外来での待ち時間や病室などでお好きな書籍をご自由にお読みください。



新人紹介

氏名：卜部 浩俊
 部署（職名）：産婦人科
 趣味・特技：剣道 四段
 着任にあたっての抱負：

県西部地区の母子医療に微力ながら
 尽力してまいります。



氏名：今屋 雅之
 部署（職名）：小児科
 趣味・特技：読書・自転車競技観戦
 自己PR：マイペースです。

着任にあたっての抱負：

日々成長していきたいです。



氏名：明野 慶子
 部署（職名）：産婦人科
 趣味・特技：音楽鑑賞、インターネット
 自己PR：国立都城病院産婦人科で唯一
 の女医として患者さんの気持ちにより
 そった診療を心がけています。

着任にあたっての抱負：

都城・県西部地区の産婦人科医療に少しでも役立てるよう、がんばります。



氏名：樫木 朋子
 部署（職名）：小児科
 趣味・特技：散歩、ウォーキング
 自己PR：ゆっくりとお話を聞くこと、
 丁寧な診療を心がけています。

着任にあたっての抱負：

子ども達が早く元気に、笑顔でいられるようお手伝い
 できればと思います。



氏名：中山 文子
 部署（職名）：皮膚科
 趣味・特技：おいしい物をたべること。
 自己PR：年の割には元気です。

着任にあたっての抱負：

都城夫妻ヶ丘町出身です。
 地元で末永く務めたいと思います。
 よろしく願い申し上げます。



氏名：横山 晃子
 部署（職名）：小児科
 趣味・特技：散歩
 着任にあたっての抱負：

よろしく願います。



氏名：三島 潤子
 部署（職名）：看護部部長室 副看護部長
 趣味・特技：ねること。（睡眠）
 自己PR：初めての宮崎県人です。
 食べ物がおいしいと聞いて楽しみに
 しています。

着任にあたっての抱負：昇任ですので、不安で一杯です。
 わからないことが多いですが、一生懸命頑張ります。



氏名：山崎 丈嗣
 部署（職名）：泌尿器科
 趣味・特技：ゴルフ
 自己PR：集中力はあると思っています。

着任にあたっての抱負：

地元の医療に貢献できるようにがんばります。



氏名：若松 かおる
 部署（職名）：2病棟 看護師長
 趣味・特技：旅行
 自己PR：熊本の病院に5年おりました
 が、都城病院出身です。

着任にあたっての抱負：患者様や家族の
 声に耳を傾けながら一生懸命頑張っていこうと思いま
 す。



氏名：上野 貴大
 部署（職名）：泌尿器科
 趣味・特技：ゴルフ
 着任にあたっての抱負：

がんばりますのでよろしくお願い
 いたします。



氏名：上村 みゆき
 部署（職名）：外来 看護師長
 趣味・特技：映画鑑賞
 自己PR：よく睡眠をとり、食べる事
 です。お菓子大好きです。

着任にあたっての抱負：

笑顔を絶やさずに、外来をもちたてていけるよう、ス
 タッフと協力しながらがんばります。



氏名：梅崎 直紀
 部署（職名）：外科
 自己PR：よろしく願います。



氏名：宮永 朋子
 部署（職名）：栄養管理室（室長）
 趣味・特技：読書、ドライブ
 着任にあたっての抱負：

初めての室長赴任となりますが、
 精一杯頑張ります。



平成25年度院内研究発表会報告

都城病院 臨床研究部長 阿南 隆一郎

平成26年3月1日(土)に第6回都城病院院内研究発表会が開催されました。出席者は院外5施設からの9名を含め91名と多くの方に参加していただきました。院外からの参加は昨年の7名より増えており、関心を御持ちいただきありがとうございます。今回は院内の各部署より14題の演題があり、「地域支援」(座長:吉川教恵先生、鳥丸章子師長)、「緩和ケア」(座長:前田宏一先生、北野善恵師長)、「新しい取り組み」(座長:田所正年副薬剤科長、辻 智子師長)の三つのセッションに分かれて発表いただきました。

いずれの発表も分かりやすく、質疑も活発に行われ、参加者からも「各部門の研究を聞く事で、患者さんのために病院全体で取り組み生かして行っている事が分かりました。」というような感想が多数寄せられ、他の部署の活動を相互に知る上でも有益なものとなりました。どの発表も院内発表会だけにとどめておくのもったいない内容であり、さらに症例数を増やしたり内容や考案を深めたりして、研究を発展させ国立病院総合医学会をはじめそれぞれの領域の学会に発表していただきたいと思っております。

井口院長をはじめとした6名の審査委員による厳正な審査が行われ、僅差ではありましたが評価の高かった演題として、第1位に相村放射線技師の「術後X線ポータブルにおける画像フィルター処理によるガーゼ検出能の評価」、第2位に新屋医師の「周術期口腔機能管理の実際 第2報 管理上の問題点」、第3位に杜山検査技師の「I P F % (幼若血小板比率)の基礎的検討について」の3題が選ばれ、後日行われた都城病院合同送別会の場をお借りして表彰式が行われました。

このような発表会が行われる事は、診療の質の向上および院内の相互理解に大変有用であり、今後も継続して開催される事を願っております。最後になりましたが、本発表会の主催者であり、開催の準備から会の円滑な運営に尽力いただいた研修・教育部の休萬師長、秘書の田中さんに感謝したいと思います。



がん診療連携拠点病院研修のご案内

都城病院はがん診療連携拠点病院として、高度で良質な医療の提供と、病む人が安心し、信頼できる病院を目指しています。また地域の皆様のニーズに応えられる医療の提供と、がん医療の均てん化を行うために院内の職員はもちろんのこと、地域の医療関係職員の方々を対象とした研修を実施しております。

平成26年度のがん診療連携拠点病院研修も、専門的な分野からの研修やチーム医療、地域連携、メンタルヘルスなど興味深い内容の研修を計画致しております。

是非多くの方のご参加を宜しくお願い致します。研修の詳細は研修案内をご覧ください。

月	講師	テーマ	時間
4/10	国立病院機構都城病院 呼吸器外科医師 加藤文章	肺がん入門	18:00 ~ 19:00
5/8	熊本医療センター がん看護専門看護師 方尾 志津	事例に学ぶ臨床倫理	18:00 ~ 19:00
6/12	藤元総合病院 在宅医療センター長 馬見塚 勝郎	在宅緩和ケアについて(仮)	18:00 ~ 19:00
7/3	宮崎大学医学部付属病院 精神科医学講座 船橋英樹	がん患者・家族へのメンタルヘルスサポート(仮)	18:00 ~ 19:00
11/	未定	敗血症対策	18:00 ~ 19:00
12/4	九州がんセンター サイコオンコロジー科 医長 大島彰	サイコオンコロジー	18:00 ~ 19:00
1/15 (予定)	九州がんセンター 認定看護師	放射線看護	18:00 ~ 19:00
2/5	特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎 理事長 市原 美穂	その人らしく生きることを支える	18:00 ~ 19:00

地域医療連携室リニューアル

4月1日より地域医療連携室がリニューアルしました。場所も旧厨房を改造し移転いたしました。広い空間と静かな環境は当院の中核となる地域医療連携室にはうってつけです。窓口は車いすの方も気軽に利用できるようカウンターはバリアフリー化致しました。地域医療連携室スタッフは事務補助員2名、医療社会事業専門員1名、地域医療連携室係長1名を中心に活動していきますが、がん相談支援センタースタッフとも連携協力し、対応していきますので御協力をお願いいたします。



尚、診療FAX連絡票も利用しやすいよう改訂しておりますので御利用をお願いいたします。
(文責：地域医療連携室係長 鳥丸草子)

がん相談支援センターリニューアル

4月1日よりがん相談支援センターは医療社会事業専門員谷川京子さんを迎え2人体制となりました。また、2人体制となったがん相談支援センターの空間には、相談対応のスペースを確保し、患者家族の皆様がリラックスして相談できるよう配慮しています。カウンターには昨年同様、季節感のある花やペーパークラフトを置き、がん相談支援センター前で多くの方が足を止められ感想や笑顔を頂いています。がん相談支援センターはこれからも、地域医療連携室スタッフと協力しながらがんの患者、家族の皆様、医療機関、地域の皆様のご相談にも親身になり対応していきたいと思っております。



(文責：がん相談支援センターがん専門相談員 佐藤洋子)

リンパ浮腫外来リニューアル

平成26年4月にリンパ浮腫外来がリニューアルしました。場所は、食堂前になります。



平成21年3月にリンパ浮腫外来を開設してから、早くも5年が経ち、今回、リンパ浮腫外来としての部屋ができたことで改めて、リンパ浮腫指導技能士としての役割や責任の大きさを実感しました。

これからもリンパ浮腫で悩む患者の皆様のご苦痛が、少しでも緩和できればという思いで、火・木曜日の週2日体制で活動を継続していきますので、よろしくお願い致します。

(文責：リンパ浮腫指導技能士 徳永 真由美 森 涼恵)

<連携室からのお知らせ>

第3回 病診連携夕べが開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。

日時 平成26年6月19日(木)
19時～20時30分

講演

1. 演題「リウマチめ最新治療」
都城病院 副院長 税所幸一郎
2. 演題
「症例検討を兼ねた呼吸器疾患」
統括診療部長 後藤康高

3. 演題「急を要する皮膚科疾患」
皮膚科医長 中山文子
- ワンポイント講座
「アレルギー食について」
栄養管理室長 宮永朋子

お問い合わせ先は 地域医療連携室
☎986-23-4111(239)です。

災害シミュレーション

2014年3月6日、当院敷地内の看護学校体育館にて災害医療訓練がおこなわれました。当院医師、看護師、コメディカル、看護学生等併せて100名以上が参加し、災害対策本部運営や緊急参集、トリアージ等のシミュレーションをおこないました。講師に九州医療センター救急部の小林良三先生をお招きし、ご講演やご指導を頂き中身の濃い充実した訓練内容となりました。当日は都城で直下型大地震が起き市内で多数の傷病者が発生している状況を想定



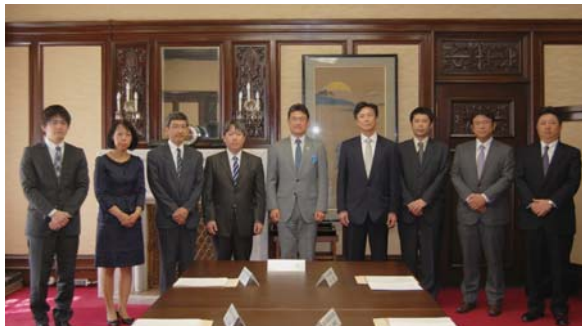
災対本部運営のシミュレーション

し、まず災害対策本部運営と緊急参集のシミュレーションをおこない、発災から緊急参集までの動き方を皆で確認しました。次に模擬患者を使ってトリアージの訓練をおこないました。トリアージは、実際におこなってみると案外難しく、皆で経験することで大変良い勉強になったと思います。最後に東日本大震災における災害拠点病院の初動の記録ビデオを観て訓練を終了しました。今回の訓練のようにあらゆる部署のスタッフが一堂に会し同じ目的意識で真剣に取り組む機会 はなかなか無いと思います。参加者全員が大変貴重な経験を得るとともに災害に対する病院全体の意識も変わったのではないかと感じています。



トリアージ訓練の様子

ご存知のように南海トラフ巨大地震発生時には宮崎県は甚大な被害を受けることが想定されています。延岡市、日向市、宮崎市、日南・串間地区をはじめ海岸に面する地域は地震と津波により想像を絶する被害と多数の死傷者の発生が予想されます。幸い都城は内陸にあるため津波の被害はありませんが、それはつまりアクセスの良さと病院機能を活かし初期の災害医療活動のみならず中長期的な後方支援の拠点として重要な役割を持つべき地域であるということです。そのためには都城の災害拠点病院である医師会病院をはじめ当院やいくつかの病院が連携し情報を共有して人的・物的資源を有効に利用することが求められます。また行政、消防、警察、自衛隊などの密な連携も必要です。2014年3月28日に宮崎県知事より、当院をはじめ県内の主な救急病院代表者が災害医療コーディネーターとして委嘱を受けました。災害医療コーディネーターは先ほど述べたように各機関の連携を図り情報を収集・分析し有効な医療救護活動を行う“調整役”としての役割が求められています。



災害医療コーディネーター委嘱式

院内においても2014年4月7日に災害対策委員会を立ち上げ、災害に対する備えやマニュアルの見直し、個別訓練等を急ピッチで進めています。院内での活動や災害医療コーディネーターとしての活動を通して、当院がこの地域の中でより役に立てるような体制づくりを行っていきたいと思います。

(文責 外科医師 長井洋平)

看護学校だより

第65回卒業式

独立行政法人国立病院機構 都城病院附属看護学校
65回生 松崎香奈

平成26年3月4日、独立行政法人国立病院機構都城病院附属看護学校65回生38名、卒業を迎えることができました。

3年前に本校に入学し、まだまだぎこちないスーツ姿で迎えた看護学生としてのスタートから、思えばあっという間に卒業の日を迎えたように思います。学校生活で仲間と切磋琢磨しながらとても充実した3年間を過ごすことができました。

中でも、看護学生としてとても印象に残っているのは臨地実習です。私たちは1、2年生で講義や技術演習を通して基本的な知識や技術を身につけ、2年生後半から3年生の12月までの約1年間は病院や地域の施設での実習を通して看護の実際を学びました。

私たちは第103回看護師国家試験を受験し、38名全員合格することができました。4月からは晴れて新社会人として、また、一人の看護師としてそれぞれの病院で働きます。これまでに出会った患者さん、お世話になった施設の方々、学校生活を支えてくれた学校の先生方、誰よりも一番近くで支えてくれた家族、どんな時も励ましあってきた仲間感謝し、この学校で得た知識や技術をもとに、患者さんをはじめ地域の方々の心身の健康を支えられる看護師になっていきたいと思ひます。



第68回入学式

独立行政法人国立病院機構 都城病院附属看護学校
1年生 (68回生) 山本苑実

平成26年4月9日、私たち68回生39名は独立行政法人国立病院機構都城病院附属看護学校への入学を許可していただきました。これからはじまる学校生活に対する期待と不安を感じていますが、伝統ある都城病院附属看護学校の学生としての誇りと自覚を持ち、日々の学習に取り組みたいです。そして、68回生39名全員が自分の理想とする看護師像の実現のために、幅広い知識と技術を身につけることができるように努力していきたいと思ひます。

今はまだわからないことが多く、これから身につけなければならない知識や技術の多さ



に不安を感じることも多いですが、「新入生誓いのことば」で述べたように、技術面だけでなく、患者さんはもちろん、そのご家族の気持ちも理解し、心のケアのできる看護師になりたいと考えています。同じ志を持つ仲間との出会いを大切に、辛いときには支えあい、切磋琢磨しながら、看護師としてはもちろん、1人の人間として大きく成長していきたいと思ひます。

外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人 都城病院
国立病院機構

受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 26 年 6 月 1 日】

診療科名等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科 (血液内科は紹介予約制) ※1	初診	血液 肝	前田 宏一	休診		
	再診	加藤 順也	前田 宏一	前田 宏一 加藤 順也	前田 宏一	
	下部消化管内視鏡			橋本 神奈 (午後より)		
循環器内科	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	
呼吸器内科	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	
呼吸器外科	初診	手術日	前川 信一	前川 信一	手術日	
	再診	手術日	前川 信一 加藤 文章	前川 信一 加藤 文章	手術日	
小児科 (午後は完全予約制)	午前	1 診	榎木 仁	榎木 仁	今屋 雅之	
		2 診	榎木 朋子	榎木 朋子	並河 紳	
	午後	1 診	榎木 朋子	横山 晃子 (NICU 週院児健診)	並河 紳	横山 晃子
		2 診	今屋 雅之 (一般乳児健診)	並河 紳	今屋 雅之 (一般乳児健診)	榎木 仁
3 診	榎木 仁	榎木 仁	榎木 朋子	今屋 雅之	榎木 仁	
外科	初診 ※2	後藤 又朗	手術日	後藤 又朗	長井 洋平	
	再診	後藤 又朗 藏元 一崇	手術日	後藤 又朗 梅崎 直紀	藏元 又は長井	
整形外科	第1診察室	税所 幸一郎		吉川 教恵		
	第2診察室	菅田 耕	手術日	菅田 耕	吉川 教恵	
リウマチ科	税所 幸一郎	吉川 教恵 (再診のみ)	手術日	休診	税所 幸一郎 (再診のみ)	
泌尿器科	1 診	手術日	山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	
	2 診	手術日	井口 厚司	米澤 智一	米澤 智一	
皮膚科	午前	中山 文子	中山 文子	中山 文子	中山 文子	
	午後	中山 文子	中山 文子	手術日	中山 文子	
産婦人科 (紹介予約制)	初診	徳永 修一	ト部 浩俊	徳永 修一	ト部 浩俊	
	再診	永井 義雄	徳永 修一 ト部 浩俊	永井 義雄	ト部 浩俊	
耳鼻咽喉科 (難聴外来は予約制)	一般	外山 勝浩 永野 由起	外山 勝浩 永野 由起	外山 勝浩 永野 由起	外山 勝浩 永野 由起	
	難聴外来	永野 由起 (14:00 ~ 17:00)			手術日	
放射線科	初診再診	日野 祐一	新村 耕平	日野 祐一	新村 耕平	
	放射線治療	新村 耕平	日野 祐一	新村 耕平	日野 祐一	
歯科口腔外科	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	手術日	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	
がんサポート外来 (予約制) ※3	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	
特殊外来	マザークラス (第二・四曜日)	フットケア外来	助産師相談室 (午後)	母乳外来	ストーマ外来 (午後)	
		リンパ浮腫外来		リンパ浮腫外来		

【その他の特殊診療】

診療科名等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内視鏡センター	上部消化管	気管支	上部消化管 下部消化管	上部消化管・下部消化管 (午後より盛大) 気管支	上部消化管 下部消化管
透視撮影 (胃)	外科		外科		
骨塩ドック (骨粗鬆症検査) 【予約制 (14:00 以降)】		整形外科		整形外科	

※1 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前にFAX連絡票と共に、最新の血液データを送って下さい。
 ※2 外科初診日(月水金)は紹介初診の患者様の診察は、10時以降になりません。
 ※3 がんサポート外来については、事前にがん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
 ※ 紹介予約制および予約制については、事前にご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
 ※ セカンドオピニオンの受付については、予約制となっております。地域医療連携室までご連絡頂きますようお願いいたします。

〒885-0014 都城市祝吉町5033番地1 TEL (0986)23-4111 FAX【地域医療連携室】(0986)26-1893 FAX【代表】(0986)24-3864



独立行政法人
国立病院機構

都城病院 (地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター)

〒885-0014
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
 TEL/ 0986-23-4111 (代表)
 FAX/ 0986-23-3864
 E-mail/ syomu-2@hosp.go.jp
 http://www.nho-miyakon.jp
 編集発行: 広報誌委員会

地域医療連携室・相談支援センター

部長 後藤 康高 (統括診療部長)
 副部長 西山 信二 (経営企画室長)
 副部長 鳥丸 章子 (地域医療連携係長)
 上原 大志 (企画担当・経営企画係長)
 佐藤 洋子 (がん相談専門員・看護師)
 和田 智美 (医療相談担当・MSW)
 谷川 京子 (医療相談担当・MSW)

TEL フリーダイヤル (0120)411-329 FAX (0986)26-1893
 地域医療連携室 E-mail: trenkei@miyakon2.hosp.go.jp
 がん相談支援室 E-mail: gansodan@miyakon2.hosp.go.jp